

A0298  
7100形 弁慶号+客車4両 木箱セット

主な走行都市



製品の仕様・価格・発売時期は予告なく変更する事がありますので、予めご了承願います。

品番	A0298			
JANコード	105481			
商品名	7100形 弁慶号+客車4両 木箱セット			
商品系形態	塗装済完成品			
素材	合金・ABS樹脂			
予価	16,800円			
発売予定	2002年8月			
規格	N			
カートン内入数	外箱24・内箱12			
実車	北海道最初の鉄道は、アメリカ人のクロフォードに指導を受け、1880年11月、手宮・札幌間の幌内鉄道が開通しました。機関車はアメリカのH.K.ポーター社から軸配置1Cのテンダ式機関車を2両輸入しました。1882年、1884年、1889年に2両ずつ増備され、最終的に8両となりました。輸入順に「義経」「弁慶」「比羅夫」「光圀」「信玄」「静」と名付けられ、1889年製の2両には名付けられませんでした。幌内鉄道は1889年北海道炭礦鉄道に払い下げられた後、1906年国鉄に買収され、主に北海道内で新線建設工事の作業用機関車として使用されました。これらに牽引された客車のうち、当セットの客車は北海道炭礦鉄道手宮工場製の二三等車にさ35・36号(国鉄形式フコハ5970・5971)、三等車さ1-6,8-12,16-18,22号(国鉄形式フコハ7925-7939)です。1917年「静」から廃車が始まり、1924年までに全機廃車されましたが、現在でも「義経」は大阪の交通科学博物館に、「弁慶」は東京の交通博物館に、「静」は北海道の小樽交通記念館にそれぞれ保存されています。			
商品	北海道で最初に走った蒸気機関車を製品化 マイクロエース蒸気機関車シリーズ、技術の集大成 金属ボディ採用・小型モーターを開発し、機関車に動力を搭載することを可能に 機関車の美しい装飾を見事に再現 小型車両にも関わらず、機関車のライトが点灯可能 客車4両付属 客車の室内はストーブのない夏姿を再現 ストーブを別パーツにして、客車の座席をA0291とは作り分け 黒染車輪採用 当製品は1/130スケールです 牽引力の都合上、機関車には客車を4両以上連結しないで下さい			
パッケージ	木箱			
オプション対応	なし			
関連商品	A0290 7100形 義経号 A0291 7100形 弁慶号 A0297 7100形 義経号+客車4両 木箱セット			
編成	弁慶号	モーター・ヘッドライト点灯	さ2	3等車
	にさ35	2・3等車	さ10	3等車
	さ8	3等車		